

都市再生整備計画(第4回変更)

おおふじちゅうがっこうくしゅうへんちく
大富士中学校区周辺地区

しずおかけん ふじのみやし
静岡県 富士宮市

平成30年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	富士宮市	地区名	大富士中学校区周辺地区	面積	658 ha
計画期間	平成 26 年度	～	平成 30 年度	交付期間	平成 26 年度	～	平成 30 年度

目標

「活気にあふれ、災害に強い安心・安全に暮らせるまちづくり」
 豊かな心をはぐむ学びの場と安心して過ごせる憩いの場を整備し、市民活動の活性化と地域コミュニティの強化を目指す。
 安全で快適な道路環境を整備し、歩行者の安全性向上と地域内移動の円滑化を目指す。
 身近な防災拠点の整備・充実を図り、災害に強いまちづくりを推進する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・当地区は中心市街地から約4km北に位置する658haの地区である。
- ・区域内は住居系の地域と国道139号沿いの一部の工業系・商業系の地域で構成されており、住宅市街地では国道・県道の主要骨格軸と市道による道路ネットワークが整備され、良好な市街地環境が形成されている。近年では、国道沿道には大型量販店をはじめとした商業施設が立ち並び、利便性が向上したことから民間の宅地開発が活発に行なわれ、郊外のベッドタウンとなっている。平成24年には新東名高速道路が開通し、国道139号を通じて新富士ICへのアクセスも確保され、さらなる市街化の進展が想定される。
- ・人口は市内全域に比べて大幅な増加傾向にあり、平成10年から平成25年までの15年間において、市内全域が2%増であるのに対し、区域内の人口増加率は19%と非常に大きな伸びを示している。
- ・一方で、急速に市街化が進んだ地区であり、移転してきた住民が多いため住民相互の交流機会の提供が課題となっている。
- ・当市では富士宮市総合計画に沿って、生涯学習の場、住民同士の交流の場として、これまで、1中学校区1公民館を建設する方針のもと施設整備を進めてきているが、本地区は未整備であり、地域住民からは公民館の早期建設を求められている。
- ・道路環境については、通学路を中心に安全対策を進めてきているが、未整備部分があるため今後災害対策とあわせて更なる整備を進めていくところである。
- ・富士宮市では平成23年3月に震度6強の地震にみまわれ、住居の破損や、怪我人が出るなど多大な被害を受けた。このような経験から市民の防災意識はこれまで以上に強くなっており、公共施設の耐震化、防災拠点の充実等、災害に対する備えが望まれている。
- ・本地区にある市民体育館は、災害時の広域応援拠点施設であり、重要な拠点として位置づけられているが耐震化がなされていない。
- ・富士宮市都市計画マスタープランでは、当区域の課題として「地域コミュニティの充実」、「生活道路の整備・改善、安全性の向上」があげられている。また、防災についての整備方針では、災害時の避難場所となる施設の耐震化などを推進するとしている。

課題

- ①住民同士を結びつける機会の提供と交流の場の確保が必要
- ②災害時の応援拠点施設である市民体育館が耐震化されていないため、災害時に機能しない恐れがある
- ③生活道路における歩行者空間の整備・改善と車道の走行性向上が必要

将来ビジョン(中長期)

- ①豊かな心をはぐむ環境の充実したまち(富士宮市第4次総合計画)
多様化する市民のニーズにあった、各種学級・講座を開催するなど、学習活動に対する意識を高揚させるとともに、交流の場を提供することで住民相互の結びつきを深める。
- ②安全でやさしい道が整備されたまち(富士宮市第4次総合計画)
市民生活の快適性や利便性を高められるとともに安全な道路環境を提供する。
- ③災害から自らを守る防災意識の高いまち(富士宮市第4次総合計画)
予想される東海地震に対応するため、建物の耐震化、災害時における地区担当班(市職員による防災組織)の拠点の充実を図るとともに住民の防災意識の高揚に寄与する。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性		従前値		目標値	
						基準年度		目標年度
公民館の利用者数	人/年	地区内の自主講座、サークル活動、公民館まつり等を通じた交流人口	公民館整備により、自主講座の増加、サークル活動の活発化、公民館まつり等を通じた交流人口の増加につながる	3,547	平成24年度	15,500	平成30年度	
道路環境の安全性満足度	%	地区内住民アンケートによる道路環境の安全性に対する満足度	交通安全対策を主とした市道整備により、地区内住民の道路環境の安全性に対する満足度が向上する。	28%	平成25年度	39%	平成30年度	
防災対策への安心感	%	地区内住民アンケートによる防災対策への安心感	市民体育館の耐震化等により、地区内住民の災害に対する安心感が向上する	20%	平成25年度	32%	平成30年度	

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(市民活動の活性化と地域コミュニティの強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の機会を提供し、交流拠点を整備することで、学習意欲の醸成と住民相互の結びつきを高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次都市施設(地域交流センター):大富士交流センター建設事業 □提案事業 ・地域創造支援事業:大富士交流センター内図書室建設事業
<p>整備方針2(歩行者の安全性向上と地域内移動の円滑化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活道路として頻繁に使用される市道を整備することにより、歩行者の安全性向上とドライバーの快適性向上及び地区内移動の円滑化を図る。 ・市道整備により、避難場所までの移動ルートの安全性を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■基幹事業 ・道路:1級市道粟倉外神線 ・道路:1級市道押出長穴線 ・道路:1級市道上蒲沢万野線 ・道路:1級市道中通一番堀線 ・道路:1級市道万野舞々木線
<p>整備方針3(災害に強いまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定される東海地震に備え、広域応援受入拠点である市民体育館及びスポーツ広場の整備を図る。 ・交流センターを整備し、地区担当班(市職員による防災組織)の拠点とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■基幹事業 ・高次都市施設(地域交流センター):大富士交流センター建設事業 ・地域生活基盤施設(地域防災施設):市民体育館つり天井耐震補強事業 □提案事業 ・地域創造支援事業:市民体育館つり天井耐震補強事業 ・地域想像支援事業:外神スポーツ広場トイレ建設事業
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民交流施設の建設について、平成23年度末に地域住民主導の大富士中学校区公民館建設検討委員会が組織され、平成25年11月までに全8回の委員会が実施され設計を進めてきた。 ○大富士交流センターが建設された際には、災害時における地区担当班(市職員の防災組織)の参集場所となり、地区内の情報収集や調整の拠点として機能する予定である。 	

都市再生整備計画の区域

大富士中学校区周辺地区(静岡県富士宮市)

面積

658 ha

区域

方野原新出、舞々木町、中原町、外神東町の全部と、宮原、山宮、外神の一部 他

